

3-3 茨城県沖の地震（1990年2月12日・M5.5）

The Earthquake off the East Coast of Ibaraki Prefecture (February 12, 1990・M5.5)

気象庁地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division
Japan Meteorological Agency

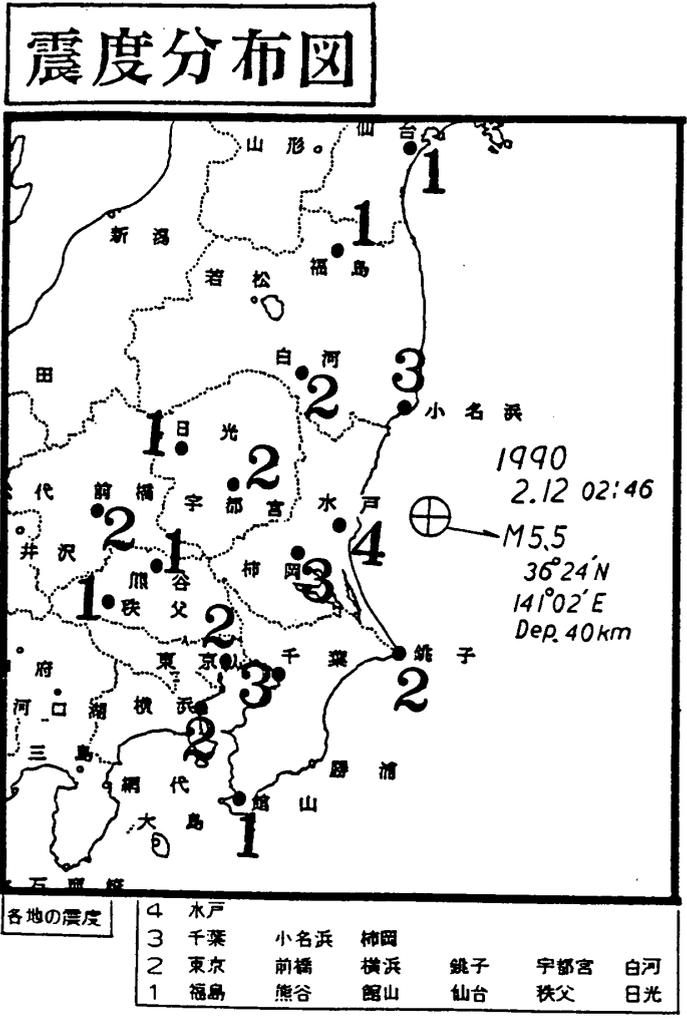
1990年2月12日02時46分頃、茨城県沖でM5.5の地震が発生し、最大震度は4（水戸）を観測した [第1図]。

この地震のメカニズムはほぼ北西-南東圧縮の逆断層となった [第2図]。

余震活動は低調で、2月16日12時までには2個（13日01時04分のM2.4と17時04分のM4.7）が震源決定された程度 [第3図-（A）]。

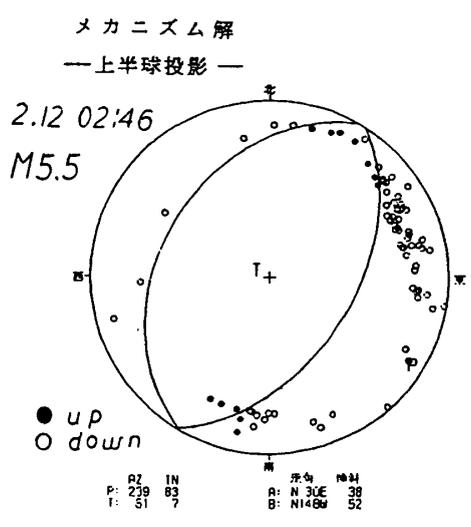
1926年以降のこの海域周辺における活動（M5.5以上の地震）状況は、1950年頃から次第に先細り傾向を示すパターンとなっていた [第3図-（B）]。

注：1989年9月1日からの資料は暫定。なお、本震の再計算結果（最終値）は、M5.3・深さ
38.3km, 36° 24.1' N・141° 01.2' E。



第1図 茨城県沖の地震の震度分布 (1990年2月12日・M5.5)

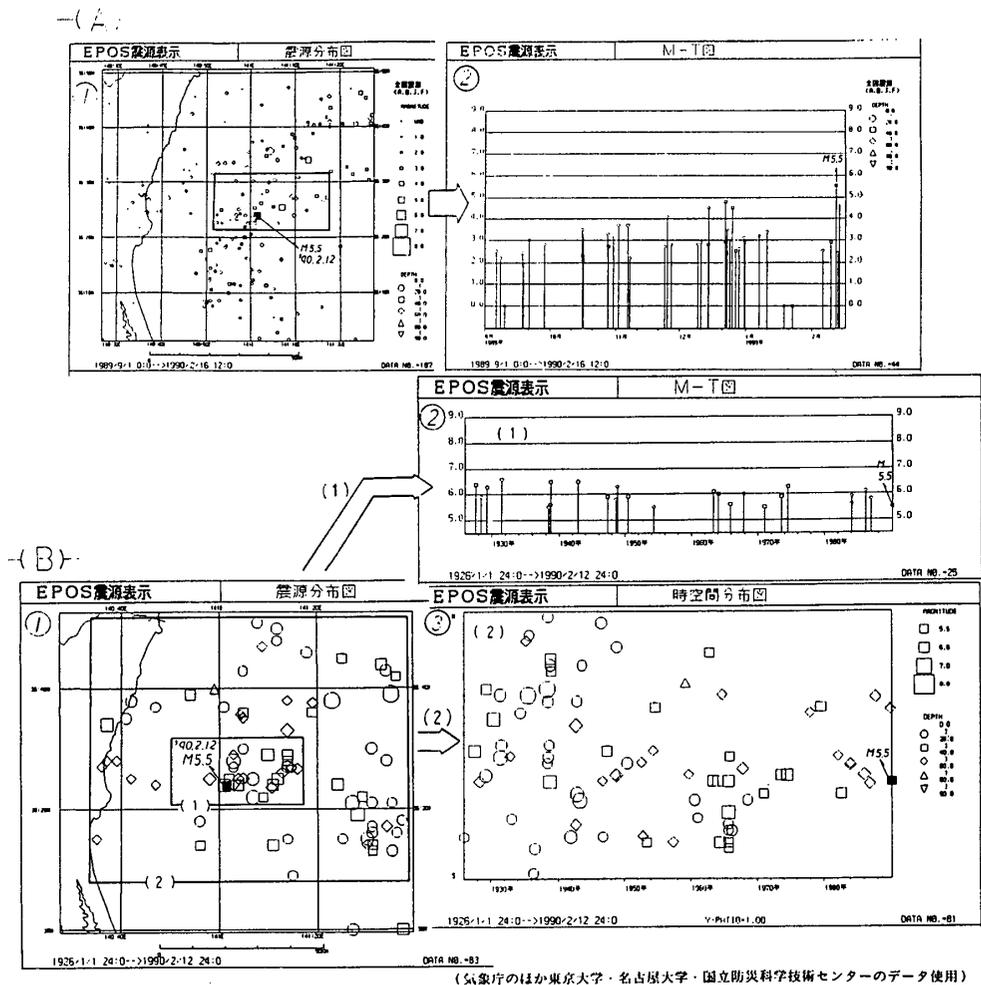
Fig. 1 Distribution of seismic intensities for the earthquake off the east coast of Ibaraki Prefecture. (February 12, 1990・M5.5)



第2図 地震のメカニズム解 (上半球投影)

●: 押し ○: 引き

Fig. 2 Focal mechanism solutions. (Projected on the upper hemisphere) ●: up, ○: down.



第3図 茨城県沖の地震活動

(A) : 1989年9月1日～1990年2月16日, (B) : 1926年1月1日～1990年2月12日・M5.5以上。①：震央分布図, ②：M-T図, ③：時空間分布。

Fig. 3 Seismic activity off the east coast of Ibaraki Pref.
 (A): Sep. 1, 1989 – Feb. 16, 1990, (B): Jan. 1, 1926 – Feb. 12, 1990 · $M \geq 5.5$
 1 : Epicentral distribution, 2 : M-T diagram, 3 : Space-time plot.